

日本性科学会雑誌第5巻1号 昭和62年5月1日発行（年2回発行）

日本性科学会雑誌

JAPANESE JOURNAL OF SEXOLOGY

VOL.5 NO.1 MAY 1987

第7回日本性科学会学術講演会
講演抄録集

1987.5.10 於 仙台市 宮城県医師会館
学会長 長池博子



日本セックス・カウンセラー・セラピスト協会
JAPAN ASSOCIATION OF SEX COUNSELORS AND THERAPISTS

ご あ い さ つ

第7回日本性科学会

学会長 長 池 博 子

第7回日本性科学会を仙台で開催するにあたり、学会長を指名されましたことは身に余る光栄と思っております。

この学会は、現在常務理事の野末源一先生や亡くなられた村松博雄先生、秋田大学の長谷川直義先生を中心として、昭和54年7月に設立され、初代の会長は、日大の馬島秀麿教授、副会長は長谷川直義先生、常務理事は東福寺英之先生（当時慶応泌尿器科助教授）と野末源一先生でありました。

性の問題は、終戦後家族制度の大改革に伴い、又男女平等思想の普及に伴い、性行動そのものと生殖が二元化して考えられるようになり、日常の診療でも、性についての悩みや性機能不全を訴える患者が増えております。性の悩みの内容は非常に多種多様であり、且つ切実なものがあります。しかしながら、性の基礎的、臨床的知識については、その専門家であるべき医師でさえ、医学教育の立ち遅れから系統的に学ぶ機会がなく、患者の訴える問題や障害に対して正しく対応できる十分な素養を持っていないのが実情です。

アメリカには、AASECT (American Association of Sex Educators, Counselors and Therapists) 並びに、SSSS (The Society for the Scientific Study of Sex) という二つの大きな団体があり、アメリカ医師会、日本の厚生省にあたるHEW、産婦人科学会などの後援を受けて積極的に活動し、これらの団体が主催するセミナーに参加された方にはCreditの単位が与えられるなど、資格制度が確立されております。

また世界的な団体、WAS (World Association of Sexology) は今年6月に、ドイツのハイデルベルグで第8回世界性科学会議を開き、アメリカ、イスラエル、イギリス、ドイツ、南アメリカ、アジアではインド、日本等多くの国々が参加する予定です。

日本では性治療研修の目的で当JASCTが昭和54年以降年間2～4回の研修会を開催してきましたが、会員の研究発表の為に学会を主催し、ここに第7回を迎えました。

今回は、現代の日本を代表する先生方に、特別講演と教育講演をお引受け頂きましたことを深く感謝申し上げます。また一般演題も幅広い分野からお申し込み頂き有難うございました。

本日の学会を機会に性科学に対する関心と理解を深め、ご研鑽下さいまして、性科学の発展に寄与されんことを願うものであります。

プ ロ グ ラ ム

- 10 : 00 開 会
 挨拶 第7回日本性科学会会長 長 池 博 子
- 10 : 15 基調講演 JASCT 会長 松 本 清 一
- 10 : 30 特別講演 I 座長 大 井 康 (日本母性保護医協会宮城県支部長)
 「医学の進歩と法的親子関係」 東北学院大学法学部教授 鈴 木 ハツヨ
 教育講演 I 座長 高 橋 克 幸 (国立仙台病院産婦人科部長)
 「戦後セクソロジー事始め」 前小山市民病院院長 石 濱 淳 美
- 12 : 00 昼 休 み
 展示：性と芸術（絵画・その他） 5 F 教室（参加会員に限る）
 長谷川直義先生コレクション 石濱淳美先生蔵他 諸先生の御厚意による展示品です。
- 13 : 00 一般演題
- 14 : 40 特別講演 II 座長 斎 藤 一 夫 (日本母性保護医協会副会長)
 「被害者なき犯罪」 元警視庁技官 小 野 常 徳
- 15 : 25 教育講演 II 座長 長 田 尚 夫 (聖マリアンナ医科大学泌尿器科教授)
 「インポテンス治療の現状」 東邦大学医学部泌尿器科教授 白 井 将 文
- 16 : 10 教育講演 III 座長 野 末 源 一 (日赤医療センター副院長)
 「医療原性性障害について」 都立駒込病院心療内科医長 河 野 友 信
- 16 : 55 閉 会

JASCT (Japan Association of Sex Counselors and Therapists) 日本セックスカウンセラー・セラピスト協会とは：

性の問題に科学的な立場から対応できるセックスカウンセラーを養成する事を目的として、1979年に設立された。アメリカにおける性教育とカウンセラー養成を目的とした AASECT (American Association of Sex Educators, Counselors and Therapists) と緊密な連絡をとって運営されており、会員に情報、教材の提供を行い、講習会や研究会を開催している。会員は、医師、看護婦、保健婦、心理臨床家をはじめとする多くの分野の人々である。

一般演題

I 群

座長 青葉久夫（青葉産婦人科医院院長）

- 1 生理学試験に見る女子大学生の性知識

文化女子大学 飯沼守夫

- 2 思春期保健電話相談にみる学年別性衝動の変化

名古屋市・産科婦人科 可世木病院 可世木辰夫

- 3 泌尿器科開業医におけるセックス相談の現況

エスエル医療グループ夏目泌尿器科 夏目紘

名古屋大学医学部泌尿器科 三宅弘治

II 群

座長 星合 昊（東北大学医学部産婦人科講師）

- 4 未完成婚に対する処女膜輪状切除術の4例

神戸市・山崎産婦人科医院 山崎高明

山崎尚子

- 5 受診の度毎に原因を異にしたインポテンスの一例

愛知県総合保健センター婦人科 青木孝允

- 6 男女カップルから見たChlamydia trachomatis 感染に関する検討

聖マリアンナ医科大学泌尿器科 長田尚夫

III 群

座長 山崎高明（山崎産婦人科医院院長）

- 7 人腔上皮の電子顕微鏡的研究第4報——年令による変化

郡山総合病院産婦人科 亀谷 謙

- 8 発情期の喪失又は性欲の構造と成立

京都精華大学文化人類学 金 明 観

- 9 性障害とS.P.のグループ活動の効用

東京催眠心理研究所 加藤隆吉

折尾順子

田口産婦人科 田口修三郎

- 10 性治療における家族内Key Person

JASCTカウンセリング部 堀 一 子

一般演題演者の方へ

- 1 発表時間は7分、質疑応答は2分、計9分以内のこと。
- 2 スライドは10枚以内とし、発表30分前迄に係に提出して下さい。
- 3 プロジェクターは1台です。

基 調 講 演

JASCT会長 松 本 清 一

医師や保健医療従事者が患者から性に関する悩みについて相談を受けたり、性機能障害の診療を求められたりすることはますます増加している。その要求に答えるためには、生物学的な面だけでなく、心理面や文化、社会面をも含めた性科学の研鑽が必要である。

科学の発達、殊に今世紀後半の内分泌学の著しい進歩に伴って生殖生理の解明が進み、また人間の性行動の実態、性反応や性交の生理が明らかにされるなど、性に関する科学的知識が増すに従って、性に対する従来の否定的、抑制的な考え方から、肯定的、許容的な考え方に変わるといふ、性意識の変革、すなわち性の解放、あるいは性の自由化が進展した。

ところが、性の自由化は一方において商業主義によって金もうけのために悪用され、歪められた性情報やポルノグラフィが社会に氾濫するに至った。性の解放に早くから取り組み、それが社会に定着したスウェーデンでも、1970年から80年代に大量のポルノグラフィが生産、配布され、スウェーデン性教育協会でも、ポルノグラフィが全国に広まる程度を誰も予見出来なかったと述べ、1978年からポルノグラフィと売春に反対する国民運動を進めている。ポルノグラフィはエロティックな芸術や文学とは全く違うのである。

わが国では、今日なお性医学講座を開設している大学が1校もないことが示すように、性科学の研究は遅れており、性に対する自由な考え方や人間の性についての正しい理解もまだ一般社会の中に浸透していない。その一方で、マスコミは性の自由化に商業価値を見だし、性を商品化し、煽情的な性情報を巷に氾濫させて、人間の性の正しい理解を阻害している。

性科学を発展させ、正しい性情報の伝播に努めると共に、性を食いものにし、金もうけの手段としている商業主義を駆逐して、社会が人のセクシュアリティについての理解を深めるようにさせることが、今日急務ではないかと考える。

特別講演 I

医学の進歩と法的親子関係

東北学院大学法学部教授

鈴木 ハツヨ

一、 は じ め に

二、 ノーマルな出生と法的親子関係

- (1) 嫡出子
- (2) 非嫡出子（含準正嫡出子）

三、 人工的处理による出生と法的親子関係

- (1) 人工授精子
- (2) 体外受精子
- (3) 代理母問題

四、 お わ り に

被害者なき犯罪

元警視庁技官

小 野 常 徳

犯罪といえは一般には加害者と被害者があって成り立っているものだが、被害者のいない犯行者だけの犯罪もある。

それは法で禁ぜられている諸々の行為を、自らが犯し、それによる被害も自らが受ける犯罪で、麻薬や覚せい剤などを不法に入手し、それに耽溺した揚句の果に身を滅す者や、売春防止法を無視して買春し、エイズなどに感染して一生を台無しにしたり、或は鉄火場などに入出入りし、賭博に熱中、あたら家財を蕩尽するなど、それに属する。

被害者なき犯罪の大手は、性風俗に関連するので、それを踏まえ、硬軟取りまぜて警察的視野から見たこの犯罪について申し述べたい。

性風俗とは、性的な伏線を持つ一種の社会現象であると思ふ。

つまり性欲に由来する性衝動が、社会の持つ処の「姦通」に言うような禁止的な問題とか、戦前まで認められていた公娼制度と云うような許容の問題、或は夫婦生活と云った義務的な規制の中で、表明と抑制の調和のもとで形成されるもので、その一連の行為が、体制側の意図如何によってその表明を著しく抑えられることがあり、その捌け口を失った性衝動が内攻して、歪められた姿で現われることもあり、諸々の性犯罪、性的犯罪には屢々それが散見されるところである。

元来、日本人の生活態度というものは、性欲を殺し、享楽を罪惡視するように教育されて来、よく困苦欠乏に耐えて、国家の為なら命すら投げ出すと云った、所謂、禁欲主義的なものであったが、戦後、デモクラシーの勃興や占領軍の指導などにより、その筋の權威による抑圧力が非常に後退、その反映として昭和元禄が生まれ、若い世代は快楽を求めて不快から逃避を試みるなど、人間本来の姿に立ち戻り、また、中流意識の浸潤と相まって、よりよき生活を楽しもうとする享楽主義的な状況に変わって来た。

その結果として、新しい性風俗が矢継早やに生まれ、ご法度だったフリーセックスが謳歌され、スワッピングが大手を振る時代になった。

私はそれらの移り変りを踏まえて、売春問題や猥せつ関連事犯を通じ、肩の凝らない話題を交えて申し上げたい。

なお、表題には反するが、警視庁在職中にタッチした被害者のある犯罪についても二、三申し上げ、大方のご参考に供したい。

戦後セクソロジー事始め

前小山市民病院 院長

石 濱 淳 美

○セックス行政事始め

セックス行政事始めは、なんといっても敗戦4日目に始まった「占領軍に対するセックス対策」だといっても過言ではない。昭和20年8月18日内務省警保局長から「進駐軍特別慰安施設について」と題する指令が発せられた。その結果政府の補助金をえて、いわゆる「特殊慰安施設協会 R A A」が設立された。またマッカーサーの命によりそれが廃止され、その結果（パンパン）が生まれ、赤線、青線、白線と変化する。

○セックス立法事始め

昭和23年の「優生法」の改正である。すなわち昭和23年6月23日、参議院において、翌24年には衆議院でそれぞれ「優生保護法」が可決成立された。昭和24年1月24日「優生保護施行令」として、政令第16号および厚生省令第3号が公布された。また昭和24年4月29日、薬事法が改正されて、避妊薬が新薬第1号として製造販売が許可された。現在の「新薬許可申請制度」が生れたのも、避妊薬が始めである。

○トルコ風呂事始め

いわゆるトルコ風呂事始めは、昭和26年銀座に出来た「東京温泉」である。昭和28年になると、吉原、玉の井あたりの、いわゆる赤線地区の風俗営業者が、東京温泉の個室を真似て、スペシャル・サービス付きのトルコ風呂を始めた。昭和28年浅草の朱雀が始めた、客のマスターベーションをトルコ嬢が代ってやるという、「オスペサービス」を開始。川崎堀之内の某トルコ嬢が考案した、自分のからだに石鹸塗り、客の上に重なってスポンジ代りにするサービスが現われ、「ソーブランド」の名称が生じた。

○セックス犯罪事始め

戦後セックス犯罪の事始めは、なんといっても小平義雄の連続殺人事件である。終戦直前の昭和20年5月から、逮捕された昭和21年8月20日までに、彼が犯して殺した若い女性は10人に達した。同様のセックス殺人は西口彰、日本閣事件、大久保清事件がある。また行為直前に相手のペニスを切断した事件は、今日までに19件ある。

○映画におけるセックス事始め

映画によるセックス事始めは、昭和21年5月23日上映の松竹映画「はたちの青春」と、続いて上映された大映の「ある夜の接吻」である。当時演劇人の接吻指導パーティーなるものが、目黒雅叙園で開かれた。性愛映画第一号は、黒沢明監督の「情欲」と「風立ちぬ」であり、性行為が水面に映し出され、ブルーフィルムと呼ばれた。映倫が出来たのは、昭和24年6月である。映倫にチェックされた第一号は、「東京十夜」である。その後「成人映画」「バスコン映画」が現われる。

○ストリップ・ショー事始め

わが国ストリップ・ショー事始めは、昭和22年2月新宿帝都座5階の、いわゆる「額縁ショー」である。本格的動くストリップは、翌昭和23年3月、浅草常盤座だといわれる。昭和25年には、東京だけでストリップ常設館16館、ストリッパー300人におよんだ。昭和26年浅草美人座では、ストリッパーが風呂桶に入るところを公演した。これが「入浴ショー」の事始めである。当時はバタフライを付けていたが、昭和28年バタフライが禁止されるや、それ以後は「特出しショー」とエスカレートしていく。

○性に関する学会事始め

わが国戦後の、特に性に関する学会事始めは、昭和25年の「性問題研究」が始まりである。昭和27年にはこれが母体となり、永井博士を会長に「日本性学会」が読売新聞の後援で設立された。昭和54年には、現在の日本セックスカウンセリング・セラピスト協会が設立され、今回までに6回の学術集会を行っている。

○性教育事始め

昭和21年11月、文部省、厚生省、法務省などの役人が集まって、「純潔教育委員会」が設立された。またこれとは別に、昭和22年永井博士が中心になって、「日本性教育協会」が設立された。また昭和47年には、小学校の資金援助をうけて、「財団法人日本性教育協会」が設立され、16回の「全国性教育研究大会」を開催している。昭和52年には「日母性教育委員会」が出来、9回のゼミを行っている。

セクソロジー事始めはまだまだ続くのであるが、時間の関係で省略し、最後に芸術におけるセクソロジーの2、3を展示する。

展 示 : 芸術におけるセクソロジー

○絵画とセックス

ピカソ、ダリ、フェン・デ・ベルデ、池田満寿夫、相笠昌義、古沢岩美などの版画

○彫刻とセックス

インド、フィリッピン、インドネシア、その他の彫刻（民芸品）

○セックス絵画の図書（洋書）

○セックス切手（フランス）

インポテンス治療の現状

東邦大学医学部泌尿器科教授

白 井 将 文

最近のインポテンスに対する診断技術の目覚ましい発達により正確な診断が可能となり、その症例症例に最も適した治療法の選択が可能になりつつある。そこでここではその代表的な治療法について述べることにする。

ヒト陰茎の勃起のメカニズムはいまだ完全に解明されていないが、われわれの最近の研究では陰茎を勃起させたり、勃起状態を消失させたりするのは陰茎深動脈より分岐した螺旋動脈が陰茎海綿体洞に開口する直前にある平滑筋よりなる弁の開閉によることが明らかになった。この弁の開閉は自律神経、特にvasoactive intestinal polypeptide (VIP) 陽性神経によりコントロールされている可能性が大となった。このVIPだけでなく弁の平滑筋を弛緩させるような薬物、例えば塩酸パパベリン、プロスタグランジンE、フェノキシベンザミンやフェントミンなどが勃起促進剤として使用可能であるが入手が容易で、安価で、しかも古くより使用されていて安全性も確認されている塩酸パパベリンが最も使用しやすい薬剤である。

われわれは177例（年齢分布は20才から83才、平均44.6才）のインポテンス患者に224回にわたって塩酸パパベリンを40～80mg陰茎海綿体内に注入した結果、完全な勃起が得られたのは全体の61.3%、不完全ながら勃起したものは19.4%、また勃起しなかったものは19.3%であった。

以上のように塩酸パパベリンはすべてのインポテンス症例に効果があるというのではなく、本剤に反応が悪いか、ほとんど反応しない症例は血管性インポテンスの可能性が大きく、これらの症例に対しては別な治療法を考えなければならない。本法の副作用として血圧下降と陰茎持続勃起症が知られているが、われわれは177例中1例に血圧の下降を認めたが昇圧剤の投与で短時間で血圧は正常に復した。また持続勃起症は4例に認められたがいずれも血管収縮剤である酒石酸水素メタラミノールの陰茎海綿体内注入で勃起は消失した。

また本法は注射法であるのでその都度医師が注射しなければならない不便さがあるが、勃起に関与する神経系が障害されていても血管系が正常であれば勃起させることができる画期的な治療法である。本法は器質的なインポテンスばかりでなく心因性インポテンスにも使用し薬の

助けをかりて挿入訓練を行わせ自信を回復させることが可能で、心理療法とうまく組み合わせるとさらに良好な結果が期待できる。

次にこれら血管作動薬剤の陰茎海綿体内注入療法で効果がない血管性インポテンスに対しては各種タイプのシリコンプロステーススを陰茎海綿体内に移植する手術が行われている。

現在シリコンプロステーススは膨張式と膨張しない唯の棒状のものに大別されている。

われわれはいずれのタイプの移植術も行っているが、これら手術療法は異物を挿入するので感染を起こさないよう十分注意して手術する必要があるのと、これはあくまでパートナーのためのものであり、これを移植したことにより自分の性感が高まったり、オーガズムがよくなったりするものではないことをあらかじめ患者に説明し、誤った過度の期待を除去しておくことが最も大切である。

一方、多少でも勃起する症例に対しては、シリコン製勃起補助具を使用させ、勃起が不十分な陰茎でも膣に挿入できるようにしている。

医療原性性障害について

都立駒込病院内科心身医療科医長

河 野 友 信

性科学の進歩によって性障害の治療が進んだ反面、新たな性障害が出現したり、治療が遅延化・難治化するケースも少なくなってきた。なかでも、医療原性の性障害は、医療行為が誘因あるいは強化因として作用するだけに、医療をプロフェッショナルとする医療従事者にとっては看過できない重要な問題である。

昨今、医療のあり方を見直す機運が高まり、医療の中味（質quality）が問われはじめているが、各科における各種疾患の治療においてquality of life を配慮するという文脈の中で、医療原性性障害の問題は避けて通れない。

医療原性性障害は、医原病と医療原性障害に大別できる。前者は、ハーストが指摘したところの医療従事者の言動により患者が神経症的反応をすることでもたらされる心因性の医療原性性障害である。後者は、心理的加重も二次的にはみられるものの、実施された検査も治療などの医療行為が直接因となってもたらす医療原性性障害である。

医療行為に起因するものでは、①薬物療法によるもの、②手術によるもの、③その他の療法（人工透析や放射線療法など）によるものがメインである。これらの医療行為は治療上不可欠で性を犠牲にしてもやむを得ないものと、回避できるものがある。臨床の場にのぼってくる医療原性性障害患者の多くは、不適切な対応に基いている。

性障害の発生が避けられない医療行為については、事前によくムンテラして納得づくで医療をすすめるか（informed consentのもとでの医療）、可及的障害が少なくなるように配慮しながら医療を進めていくことが重要である。各種の臨床例を示しながら、広い視点から医療原性性障害について説明する。

1 生理学試験に見る女子大学生の性知識

文化女子大学

飯 沼 守 夫

教養としての生理学を女子の大学で30年近く講義しており、その3分の2を生殖生理学に当てている。1965年、1971年、1985年の答案につき性知識の程度ならびにその年代的推移につき考察を行った。

理解度の比較的高い事柄は次の通りである。

アポクリン汗腺は身体の特定の部位に存在する。バルトリン腺は粘液を分泌する。子宮壁には平滑筋が存在する。基礎体温は排卵後上る。精子の染色体は半数である。射精は不随意的現象である。精液にはにおいがある。陰茎には骨が存在しない。

一方知識の不確かな事柄は次の通りである。

排卵の時期、受精の行われる場所、膣の長さ、処女膜の性状、精巣の存在場所などであ

った。

精子の染色体が半数であることは恐らく高校でも教えられたのであろう。理解度の高い事柄は実際に体験しやすい現象であり、不確かなものは実際には見ることができず覚えなければならない事柄である。

様々な形で性情報が年々増加しているにもかかわらず試験の答案で見える限り、正確な性知識の保有の程度の進歩は過去20年の間には見られない。教えられ、試験勉強をしての結果であるから、教師としても記憶しやすいような講義を工夫しなければならないと反省しているし、精子の染色体の答で分るように、できれば中学、高校で時間をかけて正しい性教育が行われることが望ましい。

2 思春期保健電話相談にみる 学年別性衝動の変化

名古屋市・産科婦人科 可世木病院

可世木 辰 夫

厚生省の健全母性育成事業に呼応して、愛知県医師会は昭和59年10月から思春期の人達を対象として、電話相談を行っている。

昭和60年度、601例の相談票を整理して、中学生が極めて強い性の衝動を受けていることを示唆する興味あるデータが得られたので、ここに示して検討したい。

第4表は相談の要点を学年別に並べたものであるが、中学生が母の肉体に極めて強い刺激を受けていることが判る。中学生は優しくて聖なるものであるべき母親の肉体から性的な刺激を受けてのぞき視を行い、罪悪感を持ったから相談してきたものと思われる。

第5表では母子相姦を頂点として、各種の近親相姦が並んでいる。いたずら電話を除けば、全部年下の男子が年上の女性になぶられている。大方は自慰の現場をみつけることから始まり、こわい父親にみつかった場合におびえて、男の方が相談に来る。乱れた家庭に多いが、母親は自分の分身をだくことに罪悪

感は少ないものの如くである。

第2図では中学生に自慰が多く、第3図では中学生に包茎の訴えが多いことが判る。中学時代に陰茎が急速に発育するから、包茎が病んで相談の種になり易い。

女生徒では性の衝動を端的に示すような質問は少なかった。強いて取り上げれば、中学時代には初経の質問が多い。高校生になると、月経異常が相談の中心となる（第5図）。

女子では性欲よりも友達がほしくなる。異性の友達を確保するために性交渉を持ち、たちまちにして妊娠する。心の準備なくして起きた妊娠であれば、当人達にとっては貴い生命などと云う観念は薄く、全く迷惑なことが起きたと言う印象であろう。

無理に指導して結婚出産の形を整えても、結果は概ね面白くないとなれば、事前に性の衝動の発揚を鎮める方向に指導は行うべきではなかろうか。

思春期保健電話相談トピックス

昭和60年度

お母さん！あなたの坊やが覗いています
家庭内でも身嗜みは必要です

(第4表)

性の衝動

質問事項	小学	中一	中二	中三	高一	高二	高三	浪人	大学	勤労	一般	合計
性交説明	M											(M=男性1人)
性器説明	2M											
アイドル歌手												
母親 女体		M	M	M			M					
入浴姿		M	M	M								
乳房、ノーブラ		2M										
タンポン使用						M						
女性器見たい				M								
テスト中に遺精				M								
女性見ると動揺する				M								
女性の下着見て興奮				M		M						
女性見て興奮							M					
Xが頭から離れない									M			
襲いかかりたい										M		
合計	1	4	4	6	1	2	1	0	2	0	1	22

思春期男子の性の衝動は極めて激しい
注意しないと女性は興奮した男に襲われる

歳上の女性に犯されて悩む若者達

(第5表) 近親相姦(全部男性よりの相談)

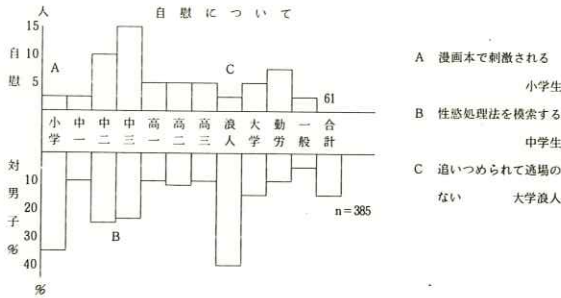
	小学	中一	中二	中三	高一	高二	高三	浪人	大学	勤労	一般	合計
母、子					1	1	1	2		1		6
父、娘												1
義母、子									1			1
姉、弟				1		2						3
兄嫁、弟										1		1
叔母、甥					1							1
合計				1	2	4	1	2	1	1	1	13

※ 父親よりいたずら電話。(P=親)

若者が自慰の現場を発見され、女性になぶられる例が多い
相談は全部罪の意識におののく歳下の男性からである
女性からの相談は皆無。電話相談の故に明るみに出た話

(第2図)

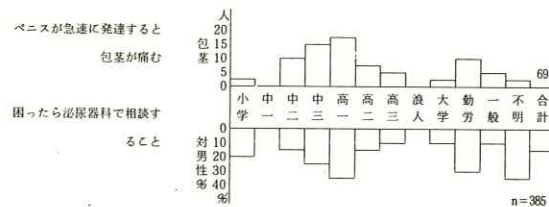
夢精と自慰で男子は自立する



(第3図)

男の子は思春期にハイピッチで男になる

包皮の心配



(第5図)

初経があったらお赤飯でお祝いを

初経	P	F	M	F	P	F	P	F	P	F	P	合計
1												12
2												
3												
4												
5												
合計												19

(M=男子 F=女子)

出血で困ってしまう小学生

初経がなくて心配な高校生

月経異常の診断に基礎体温

は欠かせません

3 泌尿器科開業医におけるセックス相談の現況

エスエル医療グループ夏目泌尿器科

夏 目 紘

名古屋大学医学部泌尿器科

三 宅 弘 治

昭和60年7月泌尿器科医院を開設し、新婚インポテンツや勃起不全などの相談を受けつけて性の悩みの相談を受けていますが、過去1年半の診療状況をまとめて、現状を報告し問題点を報告してみたいと思っている。

4 未完成婚に対する処女膜輪状切除術の4例

神戸市 山崎産婦人科医院

山 崎 高 明

山 崎 尚 子

未完成婚には色々の原因が考えられるが、最も単純なものとして処女膜強靱あるいは腔口の狭小がある。このような例に対して処女膜輪状切除術を施行したので、その成績について報告する。

第1例：♂32才・♀25才のペアー

婚前性交を試みたが全く挿入不可能であったので結婚前11日目に来院した。腔口は小指の先がやっと入るぐらいで細いタンポンも入り難い位であった。S59年11月13日手術を施行して術後11日目に結婚式を行い、快的な新婚旅行ができたと思われた。

第2例：♂48才・♀39才の夫婦

結婚後19年1ヶ月を経過して、朝日新聞の記事をみて決心して来院した。腔口はやっと小指が入る位で緊張して脚をすばめて内診もなかなか困難の状態であった。S60年12月20日手術を行ったにもかかわらず、その後主人が全然試みようともせず進展がみられず一生未完成婚のまま過ぎようとしている。

第3例：♂37才・♀33才の夫婦

結婚後1年2ヶ月して朝日新聞の記事をみて来院、この例も小指がやっと入る位で、内診時脚をすばめて硬く緊張して内診に手間どった。S61年2月17日手術を行い、その後1～2ヶ月してやっと挿入に成功したが、まだ妊娠に至っていない。

第4例：♂34才・♀30才の夫婦

結婚後1年10ヶ月経ってJASCTの紹介で来院、腔口はやはり小指1本やっと入る程度で内診時脚をすばめて手間どった。S61年3月18日手術施行、傷が治ってからタンポン挿入練習を開始、腔口が広がったので痛みと恐怖心がとれて太いタンポンまで挿入可能となったが、しかし今後は主人の早漏も原因の一つと考えられるようになり現在は squeeze method を指導しているが、術後約1年経ってもなかなかうまくいかない状態である。

以上4例について、ただ単に処女膜輪状切除術を行っただけでは解決できず、更に精神的、夫婦関係療法に関するカウンセリングや行動療法の必要性についても述べてみたい。

5 受診の度毎に原因を異にしたインポテンスの一例

愛知県総合保健センター婦人科

青 木 孝 允

患者は38歳の時、6歳年下の女性と結婚した。両者共初婚で、婚前の性交渉はなかった。初夜にペニスは勃起したが、挿入に手間どる間に萎えてしまった。その後何度も性交を試みたが旨くゆかず、勃起も消失し、3カ月後に当科を受診した。心因的インポテンスの診断で型の如く治療を行ない、6カ月後結合に成功し、間もなく妻は妊娠した。1年8カ月後、患者は再度受診した。性欲がなく勃起も

不十分であるという。胃の調子が悪く、体重が41kgに減っていた。ドグマチール50mg/day服用しており、血中 prolactin 82 ng/ml, testosterone 2.3 ng/mlであった。ドグマチールを中止すると3週間で性欲が回復し、その1カ月後、患者が再び勃起不全で受診した。今回の原因は、アセタノール 100 mg/day の内服によるものであった。

6 男女カップルからみた *Chlamydia trachomatis* 感染に関する検討

聖マリアンナ医科大学泌尿器科

長 田 尚 夫

Sexually Transmitted Disease(性行為感染症 STD)としての *Chlamydia trachomatis* (*C. trachomatis*) による尿路性器感染症は、近年流行を示して注目されている。性行為によって感染する病気であるから、男女ペアとして臨床上取り扱うべき性質と考えられるにもかかわらず、男女ペアで検討した報告は少ない。これは男子が泌尿器科、女子が婦人科というように別々の診療科で検査や治療がおこなわれているために、相互の関連性が調べにくいと考えられる。

そこで自験例から性パートナーとしての男女をペアとして検索し得た症例について報告する。

【方法】

C. trachomatis の検出方法

男子においては外尿道口から 3~4 cm の部位に、女子においては子宮頸管に swab を挿入して、上皮細胞を擦過して採取した検体を検査材料とした。

検出法は、細胞培養法、Micro Trak 直接検鏡法、*Chlamydiazyme* による酵素免疫法の 3 種類のうち、2 種類以上を同一検体におこない、1 種類以上の検出法で *C. trachomatis*

が検出されたものを *C. trachomatis* 陽性と判定した。

【対象】

非淋菌性尿道炎と診断された男子患者の性パートナーである女子とのペア 30 組を検討対象とした。夫婦ペア 18 組、夫婦以外の男女ペア 12 組である。

【結果】

男女ともに *C. trachomatis* 陽性であったペアと、男女ともに *C. trachomatis* 陰性であったペアの、*C. trachomatis* 検出成績の一致率は 30 組中 23 組、76.7% と高率であった。

また、男女で *C. trachomatis* 検出成績が一致しなかったペアを検討してみると、男子陰性、女子陽性の 3 組すべてが男子に、尿道炎か前立腺炎の治療歴があった。

C. trachomatis 陽性女子症例の自覚症状を調べてみると、17 例中 14 例 82.4% が無症状であった。

【結論】

C. trachomatis による非淋菌性尿道炎患者の性パートナー女子は、自覚症状の有無にかかわらず男女ペアの同時治療をおこなうことが必要である。

7 人腔上皮の電子顕微鏡的研究第4報 一年令による変化

郡山総合病院産婦人科

郡山免疫研究所

亀 谷 謙

女性が性興奮時に産出する腔粘滑液の生成分泌過程のメカニズムを追求する目的で、本学会に3回に亘り、腔上皮の光学並びに電子顕微鏡所見を発表して来たが、一昨年はマスタベーションによる変化、昨年は、20才と60才の比較を報告した。今回は80才と老令婦人の所見を追加し、加齢による変化、特に腔粘滑液の通路と考えられている腔上皮の細胞間隙の変化について比較検討し、性生活が老令になっても円滑に送れる可能性について考察した。

試料はすべて腔前壁の上3分の1より採取した。

性交時、腔を粘滑にする腔粘滑液の通路と考えられている細胞間隙は、基底層、旁基底層で、60才ぐらいまでは広く、80才にもなると、かなり狭くなる。これは粘滑液の生産量と流量に関連があるものと思われる。遊走細胞の浸潤も、80才にもなると殆んど見られなくなる。これは免疫能の低下を思わせる。細胞間の desmosome 結合の数は年令によりあまり変りはない。

上皮細胞核内のクロマチンの凝集は80才で著明に減少する。核小体は縮小する。

細胞内の mitosis は parabasal cell で若いほど多く認められた。中間層の細胞質内

グリコーゲン顆粒の分布は年令によりあまり差はない。若年特にマスタベーション直後に、特に移行層に、細胞質内大空胞が増加することは、以前に報告したが、この空胞は細胞内に粘滑液をリザーブするという意味と共に性交時の腔壁の機能（弾力性の増加など）にも何らかの関係があるものと思われる。この大空胞は20才に断然多く、60才で既に減少する。そして空胞の多いところは細胞間隙は狭くなる傾向がある。

20才の腔粘膜固有層の上皮直下に無髄神経終末が認められた。直経 $100\text{ m}\mu$ の dense な顆粒を含むことから、神経分泌に関する（ホルモンを分泌する）神経終末ではないかと考えられる。

80才の腔上皮移行層にコレステリン結晶を含むライソゾーム様層板顆粒が多量に発見され、皮膚の構造に近くなることも老化の一つの現象ではないかと考えられる。

今後、老令でも性生活の順調な婦人と、そうでない婦人、又、ストレスの多い婦人とそうでない婦人との比較検討は、老後の健康生活の指標として大いに役立つものと考えられる。

8 発情期の喪失，又は性欲の構造と成立

京都精華大学文化人類学

金 明 観

限定発情期喪失の理由として、京都大学の
大島清氏は妊娠中のメスがオスを引き留めて
おくために考え出されたとし、作家の戸川幸
夫氏は他動物と違い愛情であり社会的絆であ
ると言っている。両者の説を合同すれば、年
中性欲があるのは受胎時の（妊娠中）状態が
その後も続き、生殖以外に性は絆・愛情とし
て存在する、ということであろうか。

しかし、妊娠中のメス以外にも、同性にも
性欲があり、根本的な疑問をいえば、性欲と
はそもそも何であるかということになる。メ
スはオスを求め、オスも又メスを……という
風に単純に考えてよいのだろうか。メスと女
は、生物学と社会学の差であり、オスもまた
同然である。

オスは自然に男という社会的存在に成長す
るのであるか。本当に何の抵抗もなくそう
なり、オスはメスに対して自然に性欲という

ものを持つのであろうか。性欲というものは
本来的にその対象と方向性を与えられている
ものと、断定しすぎてはいないであろうか。

人類になぜ多様な性欲のパターンが存在す
るのか、他生物に対して、他物質に対して…
…。人類の性欲と自我の確立は強い関連があ
る。自我の確立が教育と文化等によって対象
と方向を決定されるように、性欲も又そうで
ある部分が大きい。

性欲は本能である。オスはメスを求めると
いう短絡的な思考は博物館へ並べた方がよい。
このことは非科学的な思想である。人類とそ
の生物学的存在からして、果して性欲という
ものはその方向性と対象を他の概念と比べて
解明されきっているであろうか。性欲は本能
か、愛情か、自然か、人工か。限定発情期喪
失を解明することの必要はここにある。

最近の論文「性欲の人類学」

9 性障害とS.P.のグループ活動の効用

東京催眠心理研究所

加藤 隆吉 折尾 順子

田口産婦人科

田口修三郎

本所に来談する性障害の中で主体とするものはImpotence とFrighdityである。

これらの主たる治療法はカウンセリングと催眠法と行動療法である。この主治療と、これに対して副治療あるいは補助手段として、患者とS.P.や家族とのグループカウンセリングはもとより。

患者とS.P.にはクラブ活動をさせると、さらに効果が認められた。

I.M.P.とS.P.の会(オシドリ会)と、27才以上の独身女性の会(三十路会)のようなグルー

プ活動を定期的に行っている。

それ以外にレクリエーション療法を行いグループダイナミクスとスポーツ精神をもって、患者とS.P.間の情緒の安定をはかり、これによる人間関係の樹立は、治療法に対してより協力的になる。

性の悩みをもつ患者やS.P.は孤独になりがちで、特にそのS.P.は将来の不安のため破綻になりやすく、本研究により、かなり防止できる対策である。

10 性治療における家族内Key Person

JASCTカウンセリング部

堀 一 子

前年度の発表でも触れたように、私は性治療をおこなう場合、精神療法的アプローチと行動療法的アプローチを並用して進めている。ただし前者においては、この種の患者達の多くが社会適応ができていて、症状が性に関しただけ表われていることから、その人の人格の深いところまであえて入り込むことはせず治療場面で繰り広げられる夫婦の日常生活についての話題の中で、患者自身の内省力をフルに活用し、その人の心理的な問題の解決をはかることに心がけている。

ところで、パートナーの親が直接患者に強い働きかけをしてくる場合を除けば、パートナーの言動が治療の方向に大きな影響を与えるものだが、面接の中で熱心に耳を傾けていると、彼らの背後の家族達との絡み合いが見えてくることが多い。背後の家族というのは、患者の親であったり、パートナーの親であったり、兄弟であったりするのだが、時にはこ

れらの人々が、治療の重要な転期を迎えるための立て役者になることがある。そしてこの立て役者、つまり性治療における家族内Key Person の役者振りは、彼らが意識するとしなやかかわらず、見事であることが多い。

今回は、ある新婚インポテンスを例にとり、そこに登場してきた家族内 Key Person について考察を進めてみたい。

【症例】

主訴・インポテンス、

夫32才、妻27才、見合結婚

初診時結婚1年を経過、結婚まで2人とも性体験なし。勃起不十分のため挿入できないことが結婚当初からしばらく続き、来室時には2人とも強いプレッシャーを感じ、ほとんど性関係なし。

治療期間・S. 60. 11～S. 61. 11

治療技法・診察、タッチング、映画、自律訓練、脱感作、精神療法